

12/22

アルゼンチンの日の集い

12月22日(月)、長田小学校において、アルゼンチン共和国大使館よりエドゥアルド・テンポーネ特命全権大使や大使館関係者らを招き、「第36回アルゼンチンの日の集い」が開催されました。長田小学校はアルゼンチンと92年にわたる交流を続けてきました。「アルゼンチンの日の集い」は、平成元年に第1回が開催されて以来、児童の伝統・文化・言語等に対する理解を深め、意欲的な国際交流の態度を育てることを目的として開催されています。10月に実施された「境町小学生アルゼンチン共和国派遣事業」の参加児童による発表や、ダンスや合唱などで大使をおもてなしし、その後、長田小へ寄贈されたセイボの苗木の植樹式が行われました。

植樹式のあと、大使と児童たちは交流給食を楽しみ、最後は笑顔でお見送りをしました。今年も交流を深め、実りある集いとなりました。



大使との交流給食の様子

集いの様子



児童で盛大に大使のお見送りをしている様子



寄贈されたセイボの苗木の植樹式の様子

12/19

飯田園が「いばらきデザインセレクション2025年」でシリーズ選定を受賞 パリで唯一の「Japanese Tea Selection Paris 2025」で銀・銅賞受賞

12月19日(金)茨城県庁にて「いばらきデザインセレクション」の表彰式が開催され、昨年に引き続きシリーズ選定を受賞した境町蛇池のお茶屋さん、飯田園(飯田耕平代表)が出席しました。今回は、猿島茶葉100%の5種類の和紅茶と茶の歴史紹介を同梱したキューブ型の和風パッケージで、ギフトにも対応した可愛いアクリルケース入りのセット【シングルオリジンさしま和紅茶キューブ】がシリーズ選定を受賞しました。

この賞は、茨城県の産業イメージやブランド力向上につながる優れたデザインの商品や活動を、県が表彰するものです。

また、パリで唯一の日本茶コンクール、Japanese Tea Selection Paris 2025、に初めて飯田園がさしま茶を3点出品し、見事銀賞1点・銅賞2点が入賞しました。



受賞したシングルオリジンさしま和紅茶キューブ

12/25・26

一ノ谷の妙安寺で寺子屋を実施

12月25日(木)・26日(金)の2日間、妙安寺(一ノ谷)の本堂で地域の子どもたちを対象に、朝のお勤めや、冬休みの課題などに取り組む「寺子屋」が行われました。副住職の中村晃さんが地域の子どもたちに声をかけ、お寺に集まって冬休みの課題や遊びを通じて、地域のつながりを深めてもらおうという想いから実施されました。

子どもたちはわからないところを中村さんに質問したり、友達同士で教えあひながら課題を進め、終わった後には和気あいあいと仲良く遊ぶ児童の様子が見られました。



寺子屋の様子が見られます

家ではスマホなどがあり、お寺で勉強することでいつもより進みました。もともと子ども会がなかったけれど、地域の子どもでも集まりたいと副住職に提案したところ、夏のイベントやこのような寺子屋を開いてくれたので感謝しています。



境二中1年 野口優夢さん



皆で冬休みの課題に取り組む様子

本堂で朝のお勤めを行う様子

茨城県町村会・茨城県町村議会議長会 長年にわたる町への功績をたたえて 自治功労者表彰

青少年の健全育成に貢献
元青少年健全育成さかい町民の会会長、元境町青少年相談連絡協議会会長等
石山 征夫さん
(大歩)



平成15年4月から平成24年3月までの9年間にわたり「青少年健全育成さかい町民の会」の会長として、学校やPTA、地域住民と連携を図り通学路の安全確認を行うとともに、小学校のお祭り行事等においては、児童とともに運営に携わり地域住民との交流を深めることで、子どもたちの社会性や協調性を育む貴重な機会を創出されました。また、平成15年4月からの2年間は境町青少年相談連絡協議会会長として、青少年を取り巻く環境の変化に向け、健全育成のための街頭啓発活動、夜間を含む見守り活動にも寄与されました。

受賞の声
青少年健全育成に30年間、町民の方々のお力添えのおかげで賞をいただけたことに感謝しております。それと同時に、振り返れば妻の協力があったからこそだとも思いました。賞状を見せると、妻は笑顔で祝福してくれたので、私は心より感謝を伝えました。青少年を取り巻く社会は、時代と共に多様化しております。その環境変化に対応し社会全体で支援を行うことが重要だと思います。今後も若者の成長を支援し、寄り添っていききたいと思います。

地域の公共福祉に貢献
元猿島地区保護司会境支部支部長、境町商工会理事
安井 正博さん
(宮本町)



平成5年7月から令和7年7月までの32年間にわたり保護司として、社会奉仕の精神をもって罪を犯した人や非行の予防を図る活動を通して、個人や公共の福祉に大きく寄与されました。特に対象者一人ひとりの立ち直りを支援する熱意は深く、家庭訪問や面接を通じて、生活再建に寄り添う姿勢は多くの信頼を得ています。さらに保護司会研修会活動においても中心的な役割を担い、後進の指導や啓発活動を通して、地域の更生保護意識の向上に大きく寄与しました。また、境町商工会の理事として、商工業の育成や総合的な改善、商工会加盟店で活用できるポイントカードの導入にもご尽力され、地域住民の消費支援に努められるとともに、地域の活性化にもご尽力されました。

受賞の声
今年1月、町より自治功労賞に推薦したいとの話がありましたが、私は地域社会にはあまり貢献していないのではないかと自問自答しました。ただ平成5年から令和7年まで32年間、保護司として約100人の罪を犯した人や非行少年たちの更生活動に携わってきた事や、青年会議所の設立に尽力したこと、学校評議員の活動等が目に留まったのかと思います。人生最後の表彰を喜んで受けようと、水戸での表彰式に参加してまいりました。心より感謝申し上げる次第です。残りの人生、少しでも地域社会に貢献していきたいと思っています。

2/15 境町独自の物価高騰対策第8弾！総額1億円！1世帯につき現金1万円を配布

2月15日(日)、1世帯あたり1万円の配布が行われました。各投票所にて配布を行い、住民の方から「1万円はありがたい。」「物価が上がっているから助かる。」などの声がありました。

当日受け取れなかった方には2月18日(水)～3月19日(木)(土日祝除く)まで、役場にて配布を行いました。※対象は境町の住民基本台帳に記録されている世帯の世帯主の方(令和8年1月1日時点)



境町役場での現金配布の様子